

新城

高齢男性孤立防止「メンズ・シェッド」 米医務総監が活動視察

米連邦政府で公衆衛生政策を統括するビベック・マシー医務総監が7日、新城市を訪れ、NPO法人しんしろドリーム荘が高齢男

メンズ・シェッドの男性と交流するマシー医務総監(中央) 〓新城市八名井で



性の孤独・孤立予防のために開いている「八名井メンズ・シェッド」の活動を視察した。

メンズ・シェッドは「男

性たちの小屋」という意味で、使わなくなった炭焼き小屋の再生を目標に2023年10月に発足。古民家を活動拠点に50〜97歳の地元男性10人が名を連ね、市民への周知に向けて10月に開くイベントの企画を練っている。

視察では、法人の山本拓哉代表理事が事業概要を説明。メンバーのうち7人が同席し、「仲間が大勢で、炭焼き小屋の掃除に参加するだけでも楽しい」などと率直な思いを伝えた。

マシー氏は「世界中で必要とされているクリエイティブ(創造的)な活動だと思う。高齢者へのサポートを通じて地域貢献していることに感銘を受けた」と述べた。(小沢伸介)